

08.04.27
(08.11.19 改訂)

上海、変わりゆく国際都市

高部英明

【本原稿は4月にアジア太平洋物理学会(AAPPS)の理事会が上海交通大学で開催された際、会議終了後、のFaculty Clubのゲストハウスに滞在中に書いた原稿である。時間が無く未完成であるがお許し願いたい08.04.27:阪大留学フェア関係者の興味に従い節の順番を入れ替えた08.11.19】

1. 上海交通大学、京都大学、清華大学

上海交通大学は中国で最も歴史のある大学である。今年で創立112年を迎える。その設立は清朝時代。その歴史的背景は日本に深く関係している。

朝鮮半島の利益線を巡って、当時、朝鮮を属国として従えていた清朝に対し、挑戦の実質支配をねらい日本は開戦の機会を待っていた。1884年(明治27年)8月、日清戦争が勃発した。維新で近代化を急速に進めていた日本軍は清国海軍などに圧倒的勝利をし、翌年85年4/17、下関において、日本帝国代表伊藤博文と清朝代表の李鴻章との間で「下関条約」を締結し日本の勝利に終わった。この時、清国側から2億両の賠償金を獲得した。この辺りの清国の内情は極めて複雑で、例えば浅田次郎の「蒼穹の昴」に詳しい。当時権勢を我が物にしていた西太后が海軍の戦艦建造費を流用し、北京郊外の頤和園造園に使ったことは有名である。

敗戦を受け、清国は30年前まで鎖国していた日本が近代化していることに驚き、当時の交通大臣であった盛宣懷に軍艦や列車など当時の最先端の技術を開発できる人材育成を命じた。そして敗戦の翌年に1896年に創設されたのが今日の上海交通大学の起源となった南洋公学です。ですから上海交通大学(Shanghai Jiao Tong University:以後SJTUと書く)は設立110年を一昨年祝った。06年にSJTUでプラズマ物理夏の学校を開催した際、学長のJie Zhangが開催の挨拶の時

に、自らこの歴史的経緯を英語で喋っていた。屈辱をバネに皆がんばれ、と中国の学生に伝えたかったのか。

さて、ここにおもしろい話がある。日清戦争で2億両を受け取った日本政府はそのお金をなんに使ったか。これは阪大の元総長・金森先生から聞いた話です。上のような話をしていたら金森先生が、実はその賠償基金は京都帝国大学を創立するのに使われたんですよ、と教えてくれた。確かに京都帝国大学は1897年6月の設立である。京大よりSJTUの方が、一年歴史が古い。

現在、中国の最高学府は清華大学である。胡錦涛主席は高校で飛び級して清華大学の工学部土木工学科に入学している。胡錦涛政権が発足した2002年には、最高決定組織のトップ9名のうち4名(5名?)が清華大学出身者で、胡錦涛政権を巷では「清王朝(チン・ダイナスティー)」と冗談交じりで呼んだりしていた。この清華大学であるが、その設立経緯がまた面白い。

日清戦争での新興国日本の勝利に清国が真に「眠ったままの獅子」であることに気づいた欧州、米国は中国への利権・進出を本格化した。その反動は1899年義和団事件として、「ボクサー」と呼ばれる気功集団が日本を含む欧米を清国から追い出す運動にエスカレートした。義和団の攻撃を北京で耐え忍んだ米国軍隊の戦いは、チャールストン・ヘストン主演の「北京の55日」という映画で有名である。この際、西太后は義和団を支援した。しかし、陥落寸前の米国軍に日本を含む連合国の支援が到着し、事態は一変。義和団の変は1901年、清国が謝罪し、連合国に賠償金を払い協定を結んで終結した。

被害の大きかった米国は義和団の変で戦死した兵士達への賠償金を親族に渡したりしたが、それでもお金が余った。当時の大統領・セオドール・ルーズベルト(ニューデールで有名)はその用途を、イリノイ大学の学長の提案に従う事を決断した。学長の進言は「中国の人たちの米国に対する理解が希薄なため、このような悲劇が起こった。中国の優秀な若者の米国理解を深めるため、北京に英語教育を基本にした大学を設置し、中国との友好を深めるべきである」と言う内容であった。この目的のために設立されたのが清華大学である。従って、現在の清華大学キャンパスはイリノイ大学に酷似しているそうだ。設立は1911年。

参考 (Wikipedia より)

上海交通大学

概要： 全日制在校生 23,900 人で、内本科生（学部学生）14,506 人、修士研究生 5,366 人、博士研究生 2,998 人、外国留学生1,959 人などである。留学生は韓国、ドイツ、日本が多い。2002 年にはシンガポールに最初の大学院を設置。また2003 年にはミシガン州立大学と単位互換協定を結んでいる。

沿革

- ✓ 1896 年に盛宣懐が上海に創設した南洋公学を起源とする。北洋大学堂とともに中国人によって設立された最古の大学である。敷地は上海の租界内にあり、戦火を受ける心配がなかった。
- ✓ 1910 年代後半に南洋大学、さらに上海工業専門学堂と改称された。当時は米国留学帰りの教授が多く、東洋のMITと称された。
- ✓ 1921 年北洋政府は各地の国立工業専門学堂を統合し、上海工業専門大学は交通大学上海分部となっている。
- ✓ 日中戦争中は重慶に移転し、戦後上海に復帰した。国共内戦後、一部の教授は台湾に移り、新竹に国立交通大学を設置している。
- ✓ 1956 年国務院の決定により、西北教育支援のために 60%の人員を西安に移し、交通大学西安分部、上海分部と称した。
- ✓ 1959 年7 月 31 日、上海交通大学と西安交通大学が正式に成立した。SONY と提携し、能力の高い人材を輩出しており、世界的に評価が高い。

キャンパス

- ✓ 徐匯キャンパス（上海市徐匯区華山路） - 大学創業の地であり、本部などを置く。
- ✓ 閔行（ミンハン）キャンパス（上海市閔行区東川路 800 号） - 本科生用に新設された。
- ✓ 法華鎮路キャンパス（上海市長寧区法華鎮路）
- ✓ 上中路キャンパス（上海市上中路 100 号）
- ✓ 七宝キャンパス（上海市七宝路 2678 号）
- ✓

清華大学（英名:Tsinghua University）は北京市西北郊の清華園に所在する総合大学。開学は1911年。25,000名の学生（うち本科生14,000名）が理学部、工学部、文学部、法学部、経済学部、経営管理学部、芸術学部などに学ぶ。中国で最も評価の高い大学であり、国家重点大学のひとつ。理系に強いとされ、文系に強い北京大学と比較対照される。朱鎔基元国務院総理、胡錦涛国家主席の出身校である。

2. 上海との縁

友人であり、共同研究者の Zhang, Jie (張杰) が上海交通大学の学長に選出されたのは 06 年の 7 月であった。彼を北京に訪ねた際「ある有名大学の学長に選出された、名前は言えないが、学長になるとおまえとも「本音」だけでつきあうことができない場合があるので、今、中国物理学会の理事会の本音をしゃべろう」と、ある重要課題について本音を教えてくれた。そのおかげで、次の行動に移ることができ、今回の AAPPS 理事会でその問題が解決の兆しを見せた。

その時、「おい、どこの大学だ？北京か？」と聞くと。「いや、北京ではない」というので、「それでは、上海交通大学(Shanghai Jiao Tong University)だろ」と言う。「なぜわかった。実はその通りだ。就任は 11 月の予定だ。それまで内緒にしてくれ。それでも、なぜわかった？」と言った。「北京以外で重要な大学と言えは江沢民の母校である上海交通大学（以下、略して SJTU）ではないか」と。

彼は 48 才にして上海交通大学の学長に 06 年の 11 月に就任した。07 年 9 月には神戸の国際会議に来た際、就任早々の阪大・鷺田総長の表敬訪問を仲介した。実は、阪大と上海交通大学は日中の姉妹校に相当する関係にある。阪大が中国で最初に学術交流を締結したのが SJTU であり、過去 12 回、毎年、学術セミナーを秋に交互がホストになり実施して来た経緯がある。何とも奇遇である。そんなこともあり、私はこの秋に阪大がホストの第 13 回学術セミナーの実行委員を引き受けることになった。

「上海との縁」はさらに深い。私は小さい頃から母に上海のことをいろいろ聞かされて育った。母は上海の日本人租界地ある「虹橋 (Hong Qiao)」エリアに生まれ、11 才までそこで育った。祖父が中国で土木関係の会社を経営した関係で、祖母と、兄と弟、2 人の妹の 7 人で暮らしていた。東洋のニューヨーク (パリ) と言われた当時の上海のすばらしさを良く聞かされた。最初に上海を訪ねた際、母の実家の住所を見つけ、次にプライベートに母を家族で連れてきたりしたが、この話は私的な話題なので打ち切ろう。

かくも上海に縁があり、上海は自分の潜在的古里とも表現できる。それだけに上海を訪ねるのは楽しい。Jie Zhang が SJTU の学長になり、彼と上海で共同研

究続けることを母に伝えると、母はしみじみと「これは見えない力がくださった「縁」ですね」と頷いていた。私もその力に感謝している。

3. 学長としての Jie Zhang

彼を 07 年秋に阪大本部に連れて行く際、電車の中で聞いた。まず、彼がどうして学長に選ばれたのか。彼はその前は 44 才で「Youngest Academician」となり、その後、中国科学院 (Chinese Academy of Science: CAS) に所属する 89 の研究所の総責任者を勤めていた。すべての研究所を毎年ヒアリングする立場にあり、彼を捕まえるのはだんだん難しくなっていた。彼とは 02 年 12 月に運命的な出会いをした。二人は同じ研究分野、ともに物理学会の理事、共に国際交流担当。最初に会ったときに共同研究を始めようと、意気投合した。彼のグループとは昨年 12 月まで学振の日中共同研究 (高強度レーザーを用いた実験室宇宙物理) を 3 年間続けてきて、阪大と上海の大型レーザーで実験を行い、論文が *Astrophysical J.*, *Physics of Plasmas* などに掲載した。

上海光機所にある大型レーザー神光 (Shenggang)-II を宇宙の衝撃波実験に使いたい旨、学長に頼んでいたところ、所長と交渉してくれ、所長の快諾を得て 10 月に実験を行うことになった。その第 1 回の打ち合わせを行うために上海に来た。同時に、アジア太平洋物理学会 (AAPPS) の会長に選出された学長の 3 年任期が 1 月からスタートし、その第 1 回の理事会が SJTU で開催されるため、物理学会推薦で選出された高部が理事として出席するために上海に来た。

彼が学長に選出されたのは以下のようなものである。まず、大学の教官が複数で彼らが望む学長候補を推薦する。このリストは共産党の人事部に送られる。共産党が候補者の経歴など調べ、その中から 3 名を選んで学長候補とする。この 3 名について大学教官による選挙を行い、新学長が誕生する。彼は第 1 回の選挙で 70% の得票を得、絶大な支援のもとで学長に選出された。教官達からは 10 年は学長職を続けてほしい (1 期は 5 年) と言われているが、まず、5 年に何をやるかではっきりした目標も掲げている。

学長になってからはメールを書いても必ずしも返事が来ないので、緊急時には私は彼の携帯電話に夜中に電話することになっている。これが確実に彼と話ができる方法だ。一度は話の途中で「ガラガラガラ」とすごい音がしたので、「おい、Jie、何があったんだ。大丈夫か?」と大声で叫んだら、1, 2 分して返事があり

「驚いたか？今、北京に行くため、空港の X 線検査を通ったとこなんだ。ハッハッハ」と、言うこともあった。

彼は全校 4 万人の学生と常に顔を合わせて、機会あるごとに学生達と話すようにしている。だから、学生からの信頼も厚い。一度、ミシガン大学の学長が訪問した際、彼が「俺は学生にとっても慕われている。俺のように 20%以上の学生から慕われる学長は、米国では最も望ましい学長かな」と自慢していた。そこで、Jie は、新キャンパスの学生にミシガンの学長を紹介することにした。その時、Jie が壇上に上がると学生達から「ウォー」と右手を挙げての学長へのエールがこだまし、ミシガンの学長がびっくりしたそう。

江沢民は今、上海にすんでいる。江沢民の息子は Jie の長年の友達でかつ、中国科学院の副総裁、上海科学院の総裁である。同時に IT 関係の会社も経営している。07 年に息子の彼が JST に招待されて日本に来た際、大阪によりレーザー研の見学に来た。実は、彼から Jie に事前に電話があり「日本に行くが、どこを訪ねたらいいか？」と相談があり、Jie が「レーザー研にゆけ」と示唆したとのこと。また、お父さんは時々、母校である SJTU をお忍びで散歩に来る。そして、懐かしい木など見つけては Jie に電話してきて「俺が学生の時、こんな小さかった木が立派になっている」など話をするそう。

4. 上海今日事情

理事会を終えて、土曜日は上海交通大学の 6 カ所の研究機関を見学した。その時の驚きは後で書くとして、土曜に New Campus (Minhang Campus) から Old Campus (Xuhui Campus) の Faculty Club にある Guest House (ホテル) に移り、日曜日は旧キャンパスのある徐家匯エリアから、フランスの租界地であった淮海中路エリアまでぶらぶらと歩いた。地下鉄 1 号線を回り道もしながら 3 区間、歩いた。過去 5 回で一番天気がよく「青空」が見える。半袖で充分。

まず驚くのはメインストリートが良く整備され、歩道と車道の上に大きな木が植わり、歩きやすいこと。そして、公園などが良く整備され、市民の憩いの場になっていること。気功をする人、ベンチでゆっくりするお年寄り達。池のほとりのカップル。石畳に水で書道をする人（これには感心）。剣舞をしてる人たちも。大通り沿いにはしゃれた店や百貨店が軒を連ねる。百貨店に入って品物を見るとすべて「高い」。日本の百貨店なみ。それでも売れると言うことは上海

などには金持ちがたくさんいるということ。2年前に JST で北澤さん(現理事長)が「中国で一家の年収が 2500 万円以上のお金持ちは日本の数より多い」と言っておられた。まさにその統計を実感します。

しかし、街を歩いている人たちが皆、金持ちには見えない。彼らはどこで買い物してるかと想像するに、大通りを一歩、小道にはいるとそんなにきれいとは言えない小さな店がたくさん並んでいる。このような店は大通りから外れるほど安くなる。例えば半袖シャツでもだんだん行くと 1 桁、値段が下がる。富豪と庶民が一緒に住む街が上海だ。そして、さらに、小道の路上で売っている物は、さらに半額になる。大学の先生はどちらにはいるか？後で、給料の話も書く。

デパートの前の広場で新築マンション(大きな団地)の販売をしている。広さも 140m²ある立派な物件が中心だ。1 元は今日現在(1 元=14.9 円)です。この物件の値段はわからないが、不動産屋の店頭で値段を調べると大阪より高いか同じくらい(中古物件で 150 平米のマンションが 300 万元(=4.5 千万円)。やはり大金持ちが確実に増えているし、それが、若い人たちが集まるデパートの前に展示場を設けている。賃貸も SJTU 旧キャンパス近辺は高い。45 平米の高層マンションで月額 3500(=5 万円強)。こちらは日本より安いかな。ただし、SJTU の学生は全員寮生活で、年間料金は 2 万円程度と安いから、安心。

公共の交通機関もどんどん整備されてきている。バス停も京都の市バスのように、次のバスの待ち時間の表示が出る。地下鉄もどんどん整備されてきている。帰りに 3 駅区間乗ったが、3 元(45 円)。タクシーは基本料金 10 元か 11 元。とても安いし、たくさん走っているのだから捕まえるのも簡単。また、タクシーの車両は皆きれい。同時に大通りを日米獨の高級車も走っている。高級車が確実に増えている。

上海の「光」の部分を書いたが、同時に、「影」の部分も当然ある。淮海中路エリアに近づくと、鞆や時計などの写真メニューを持った若者が近づいて来て「鞆安いよ。すぐそこ。見てみて」と着いてくる。シカトを決め込んでも両サイドに着いてくる。「いない」と何度言っても、次から次と、よってくる。ガイドブックを鞆に直して歩いても、「鞆安いよ」と目の前にくる。「どうして日本人とわかるんだ？」と聞いても。「安いよ。偽物。近いよ」。やはり、職業的選別眼が有るのでしょう。同じ東洋人でも日本人はわかる。

DVD がとにかく安い。大通りの店でも新しい作品がどれも 10 元。これが、道ばたの店になると、5 元。100 円ショップで最新の DVD を買うようなものだ。この国は世界貿易機構 (WTO) に 6 年ほど前に加盟した。私が最初に上海に来た年だ。なのに、著作権侵害が堂々に行われている。たぶん、北京オリンピックまでに「公安」が一斉手入れをして潰すか、休業にさせるだろう。しかし、重要なことは中国人が、たぶん、DVD とはこのような値段で当たり前、と思っていること。日本のキムタクの HERO なども 7 元である。たぶん、中国人は世界で一番、世界中の映画やテレビドラマに詳しい国民かもしれない。

後に触れるように中国の高校生でアニメを通じて日本に親しみを持つ子供がたくさんいる。そこで、新聞スタンドの店頭にあった「Comic Station」という雑誌の 08 年 5 月号を買った。B5 サイズ、150 ページで 10 元。ページをめくると、日本の漫画や芸能界のオンパレード。「流言蜚語」という「亀梨」「スマップ」、の近況。「コナン」の最新情報。「Drama 特捜隊」は日本のテレビドラマの紹介記事。このあたりまでカラーで、100 ページ頃から中国人の連載漫画が白黒で始まる。

(途中で終わり申し訳ありません。時間切れ)



ミンハンキャンパス東門(岡山玉島高校研修生と08年8月)



旧市内キャンパス正門(内側より)

School Activity on Plasma Physics and 2nd KPM at Shanghai
Jiao Tong University, May 26-28, 2007, Shanghai, China.
Organized by Jie Zhang and Hideaki Takabe





07年12月阪大物理訪問団(左からXue,久野、岸本、高部、張学長、小川、Zheng)



ミンハンキャンパス模型



ミンハンキャンパス模型



本部会議室 (AAPPS理事会08年4月)



上海市内バンド夜景(左)



上海市内バンド夜景(右)